

【榎本館長からのメッセージ】

毎日が温かく、「もう春だな～こんな日が続くといいな～」と思いながら、冬物を片付けた途端に寒い日に逆戻りしてしまいました。もう3月末なのに都心で雪が舞う始末です。すこし開きかけていた花の蕾も固く閉じてしまいそう…。そういえば去年も同じようなこと考えていたような気がします。春はもう少し先ですかねえ(^_^)；

そのような、春待ち遠しいみなさま！4月の夢の島公園は、只今花盛り。アカシアに始まり、ナノハナ・ユウカリ・サクラ・チューリップ・ツバキなどの花が咲き乱れ、さらに春花壇や、コンクール用花壇が色を添え、春を演出します。

また、熱帯植物館と夢の島公園は、東部地区7公園と合わせてスタンプラリーを開催中です！無事ラリー完走を果たした方には、「植物館年間パスポート+カフェ食事券」をプレゼント(詳しくはHPをご確認下さい)。

花を眺めながらの春散歩をお楽しみください。

館長



季節イベントの紹介 (イベント・展示担当：関)

「熱帯の穀物お米展」の第二弾。熱帯圏が原産地である植物の「イネ」をピックアップ。「お米」について詳しくご紹介します。米のルーツや、世界の米をご紹介するほか、今年は、地元老舗お酢屋さんとのコラボレーションも。江戸前の寿司職人から仕入れた鮭の話など、お米と酢にまつわる豆知識は面白いものばかりです！！

また今年初の試みとして「夢の島イースター」を展開します。うさぎや卵にちなんだ植物の展示やフオトスポット、クラフトコーナーと盛りだくさん！お楽しみに！！

【4月のイベント】

新企画「夢の島イースター」(4/4～4/16)

※関連イベント「アレンジメント教室」(4/9)「エッグレース・エッグハント」(4/15・16)

企画展「熱帯の穀物 お米展」(4/17～5/28)

「ウィークエンドコンサート」(4/1、15)「ハーブの学校」(4/2)「森の学校」(4/8)

「スペシャル春のコンサート」(4/29)「弾む！響く！打楽器コンサート」(4/30)

★詳しくはイベントチラシまたは夢の島熱帯植物館までお問い合わせください。

館内で見られる植物の紹介 (植物館植栽担当：横平)

ナンヨウザクラは、正式な名前(学名)をムンティンギア・カラブラと言います。漢字では「南洋桜」と書き、実がサクラと似ていることから名前がつけられました。また、直径2センチ程の白い花がサクラに似ているためという説もあります。

原産地は中央アメリカから南アメリカ北部、西インド諸島とされますが、人間によって持ち運ばれ、現在では熱帯地域で広く植栽されています。繁殖力も旺盛なため、熱帯アメリカでは野生化もしているそうです。

枝がほぼ水平に横に張って、円錐状の形になる常緑樹で、高さが約10メートルになります。そのため果樹のほか、日陰樹としても利用されます。

花は一日で散ってしましますが、夏を中心として断続的に開花します。

果実は1.5センチくらいの球形で、熟すとサクランボのように赤くなり、甘くて食べられます。果肉は軟らかいのですが、少なく、黄色い種子が多く含まれています。熟した果実は、甘いクッキーのような香りを放っていて、そばに寄るだけでわかるほどです。一年中実っても大量に収穫できないため、市場に出回りません。



▲ ナンヨウザクラ (ホルトノキ科)



実 ▶

今月の花と実



▲ バニラ



▲ コダチャハズカズラ



▲ ピタンガ

♪ この時期の人気者 ♪

生命の息吹が感じられる4月。温室内ではハイビスカスはもちろん、月桃、レンブ、オウム花、白地に紫の線模様が美しいマツケイヤ・ペラなど花盛り。ガラス細工のようなピタンガの実、数珠サンゴの実も足元に鮮やか。

屋外のハーブ園は、乙女心をくすぐるパステルカラーの花々。矢車菊、カモミール、苺、コーンフリー、ポリジ、ジュンベリー等にときめく春です。

【サニパス券】団体不可
コーヒー、煎茶
一杯無料
4/1～4/30